

ふかがわ

市議会 だより

第4・5回臨時会、第4回定例会

- ◆可決した条例、補正予算、意見書など……2～3P
- ◆議会改革特別委員会中間報告……4P
- ◆庁舎整備特別委員会中間報告……5P
- ◆一般質問……6～15P

教えて市議会……16P

No.242 2021・2

発行 深川市議会
編集 広報編集委員会

令和3年2月4日発行

編集 広報編集委員会



深川橋

第4回
第5回
臨時会

第4回
定例会

新型コロナウイルス感染症対策を強化

条 例	補正予算※	陳 情	意見書	付議事件※
4件	7件	1件	3件	3件



こんなことを
審議し、決めました

Pick Up

補正予算 **新型コロナウイルス感染症関連予算を含む補正予算案を可決**

賛成多数

令和2年10月28日開会の第4回臨時会及び12月8日開会の第4回定例会において、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染予防等による影響を受けている地域経済や市民生活の支援などのための各事業費が計上された一般会計補正予算を可決しました。これらの事業の中から主なものを一部紹介します。

市立病院感染症対策事業

P C R検査試薬や抗原定量検査試薬の追加購入に加え、感染症患者入院エリア内で使用する回診用X線撮影装置を新たに整備します。



総額 604万円

社会教育施設感染症対策事業

不特定多数が利用する総合体育館、温水プール「ア・エール」、文化交流ホール「み・らい」、生きが文化センター、アートホール東洲館の和式便器を洋式化します。



総額 2,516万円

そのほかの主な事業

- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 1,224万円
- 学びの保障推進事業 283万円
- 在宅介護予防訪問体制強化事業 174万円
- 消防隊員感染防止対策事業 377万円
- 消防総合庁舎仮眠室感染防止対策事業 2,516万円
- 予防接種事業 503万円

感染予防冬季換気対策支援事業

新型コロナウイルス感染症の予防対策として、冬の室内換気による光熱費の増加が見込まれることから、低所得世帯等に支援金を支給します。



総額 1,392万円

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、陳情、意見書以外のものを付議事件としています。

【条例等】

■深川市職員給与条例の一部を改正する条例について

特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

賛成多数

人事院勧告に基づく国家公務員の給与改正法案が国会で可決されたため、本市においても、職員並びに市長、副市長、教育長の期末手当について、年間で0・05カ月分を引き下げるものです。

■深川市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

全会一致

人事院勧告に基づく、国家公務員の給与等についての法改正が行われたため、深川市議会議員の期末手当を年間で0・05カ月分を引き下げるものです。

■工事請負契約の締結について（深川市立高等看護学院新築建築工事）

全会一致

深川市立高等看護学院の新築建築工事について、地域限定一般競争入札を執行したものの、再度入札まで不落札であったため、随意契約により、最低価格入札者であった樋口・小川特定建設工事共同企業体と5億9730万円で仮契約を締結したもので、本契約の締結について議会の議決を得るものです。

■指定管理者の指定について（深川市生きが文化センター）

全会一致

深川市生きが文化センターについて、深川市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づき、指定管理者の公募を行い、株式会社スポーツピアを指定するものです。なお、指定期間は、令和3年4月1日から8年3月31日までの5年間とするものです。

市議会だよりに掲載しきれなかった案件は市HPで確認できます。



議決結果：市HP

【意見書】

北海道における特定放射性廃棄物に関する条例の遵守を求める意見書
コロナ禍による地域経済対策を求める意見書
不妊治療への保険適用拡大を求める意見書

全会一致

 賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）														議決結果 ▼
		佐々木一夫	辻本智	山本時雄	北村薫	大前昭代	田畑陽美	太田幸一	松本雅祐	宮澤孝司	近沢弘幸	小田雅一	鶴岡恵司	田中昌幸	北名照美	
第4回臨時会	令和2年度深川市一般会計補正予算（第9号）	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	－	○	○	可決
第5回臨時会	深川市職員給与条例の一部を改正する条例について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
第4回定例会	令和2年度深川市一般会計補正予算（第10号）	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	可決
	財産の取得について（研修用農業機械等一式）	欠	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	－	○	○	可決

※賛成＝○、反対＝●、欠席＝欠、鶴岡恵司議長は採決に加わりません。

Pick Up

庁舎整備

庁舎整備特別委員会のこれまでの取り組みを報告



太田庁舎整備特別委員長

庁舎整備特別委員会は、庁舎整備に関する事項について調査・研究するため、令和元年第2回定例会の初日において議員提案により決議し、設置しました。

令和元年第4回定例会では、委員会設置後から第8回委員会まで行った、現地建てかえを含む基本計画の調査結果について中間報告を行い、その後は新庁舎基本設計書概要版(以下「基本設計」という。)の策定に向けた調査を重ね、令和2年第4回定例会において、基本設計策定に係る調査結果を太田委員長が報告しました。調査経過等は以下のとおりです。

～委員会での主な調査・検討経過（令和2年4月以降）～

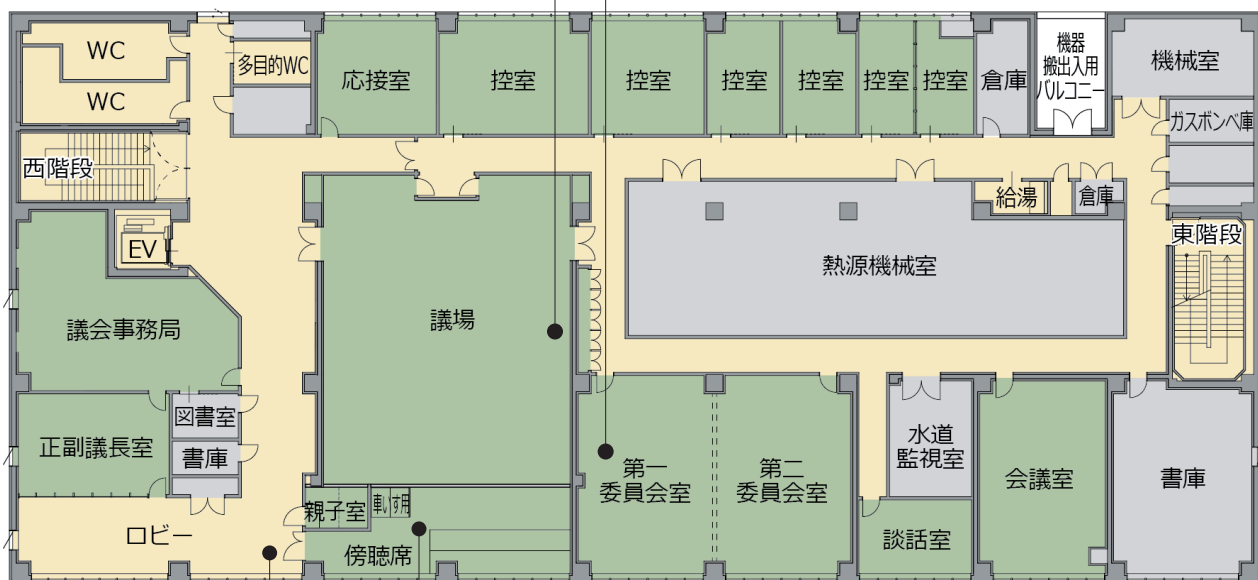
- ・第9回（4月30日） 建設事業スケジュール及び議会施設の機能について検討
- ・第10回（5月26日） 議場の配置や委員会室の利用形態など、議会施設の設備について協議
- ・第11回（7月22日） 基本設計（案）及び議会施設の平面計画・設備について協議
- ・第12回（8月4日） 庁舎整備検討会議での基本設計（案）に対する意見等の確認、議会施設の平面計画・設備について協議
- ・第13回（8月19日） 議会施設の平面計画・設備について協議
- ・第14回（10月6日） これまでの検討結果を反映した基本設計（案）について確認し、了承
- ・第15回（11月17日） 市民説明会等の結果報告を受け、委員会として最終的な基本設計を確認し、令和2年第4回定例会において調査経過の中間報告を行うことを決定



議会フロア(新庁舎4階)の基本設計

議場は対面配置型を導入。床の段差をなくすなど多用途の使用が可能。

委員会室は可動間仕切り壁を設置し、さまざまな形態・用途での使用が可能。



南側に配置し自由に展望ができるロビー。

傍聴席はロビーからフラットな床形状とし、親子室や車いす専用のスペースを設置。

Pick Up

議会改革

議会改革特別委員会のこれまでの取り組みを報告

議会改革特別委員会は、議会改革に向けた検討項目の調査や取り組みを継続して行うため、令和元年第2回定例会の初日において議員提案により決議し、設置しました。

委員会設置後、現在までに10回の委員会と議会基本条例の具体的な検討を行う作業部会を開催し、令和2年第4回定例会において、小田委員長がこれまで委員会でやってきた調査の中間報告を行いました。取り組み状況は以下のとおりです。



小田議会改革特別委員長

～委員会での主な調査経過～

- ・第1回（令和元年7月4日） 正副委員長決定
- ・第2回（令和元年7月22日） 本会議における発言について及び調査項目について協議
- ・第3回（令和元年8月19日） 本会議における発言について協議
- ・第4回（令和元年9月17日） 議会報告会及び意見交換会実施要綱の改正について協議
- ・第5回（令和元年10月4日） 議会報告会及び意見交換会実施要綱の改正案を確認
- ・第6回（令和元年11月15日） 情報発信の取り組みについて協議
- ・第7回（令和元年12月13日） 議会基本条例について協議
- ・第8回（令和2年2月3日） 議会基本条例の制定に向けたスケジュールを確認
- ・第9回（令和2年3月16日） 議会基本条例制定に向け、具体的な検討を行うため本委員会の委員全員と委員外議員1人による作業部会の立ち上げを決定
- ・第10回（令和2年11月25日） 作業部会での基本条例制定に向けた取り組み状況を確認し、令和2年第4回定例会において調査内容の中間報告を行うことを決定



市議会の情報発信

市議会ホームページをリニューアルし、本年度中に公開する予定です。

また、令和2年1月に会議録検索システムをリニューアルしました。



会議録検索システム



議会基本条例

令和3年度中の制定を目指し、これまで8回の作業部会を開催して議会基本条例素案の検討を進めています。



議会報告会・意見交換会のあり方

これまで、議会改革特別委員長を実行委員長とする組織により、議会報告会と意見交換会を実施してきましたが、開催内容をさらに充実させるため、議会報告会の担当主体は広報編集委員会、意見交換会の担当主体は議題を所管する常任委員会とすることとしました。



令和2年2月に開催した意見交換会

第4回定例会で行った12人の議員の一般質問を紹介します。

常任委員会・会派構成 (令和2年12月8日現在)

会派脱退に伴い、令和2年12月8日付で、辻本総務経済常任委員長から辞任願が提出され、同日の委員会で辞任が許可されました。

その後、辻本委員及び小田委員から常任委員会所属変更の申し出があり、同日の第4回定例会本会議で、辻本委員が厚生文教常任委員会に、小田委員が総務経済常任委員会に所属することが決定しました。

また、同日の本会議終了後、総務経済常任委員長の互選を行い、小田委員が委員長に選任されました。

総務経済常任委員会

》》

■委員長 小田 雅一

■副委員長 宮澤 孝司

近沢 弘幸 田中 昌幸 田畑 陽美
太田 幸一 北名 照美

厚生文教常任委員会

》》

■委員長 松本 雅祐

■副委員長 大前 昭代

北村 薫 山本 時雄 佐々木一夫
辻本 智

会派の構成

》》

■公政クラブ(4人)

小田 雅一 近沢 弘幸 鶴岡 恵司
北村 薫

■民主クラブ(3人)

大前 昭代 田畑 陽美 田中 昌幸

■令和公明クラブ(3人)

宮澤 孝司 松本 雅祐 山本 時雄

■新政クラブ(2人)

太田 幸一 佐々木一夫

■一人会派「日本共産党」

北名 照美

■一人会派「モ・レラ(静かな風)」

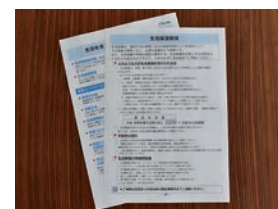
辻本 智



きたな てるみ
北名照美 議員
「日本共産党」

事業者に観戦チケット要求 実際にチケットの授受なし

生活を支えるための支援のご案内：
厚生労働省HP



厚生労働省のリーフレット

Q 市立病院放射線課の管理職員が、事業者にプロ野球観戦チケットの無料手配を求め、訓告になったと聞く。公務員は利害関係者からの物品の贈与は禁止されており、訓告は甘すぎる。再調査の考えは。

A 訓告の件については、実際にチケットの授受は行われておらず、これまでの市の取り扱いにより、懲戒処分に至らない処置であることから公表していませんが、処置に当たっては、関係職員、関係事業者から詳細に状況を確認して決定したものです。事案が発生した時点で厳正に調査を行いました。再調査については必要性

があると思われれば、再度聞き取りをするなど対応する考えです。

生活保護はためらわないで申請を

Q 2020年6月の国会で、当時の安倍首相が生活保護について「ためらわず申請を」と答弁した。以降の展開と深川市

での申請実態を伺う。また、市でも同様のメッセージを発信するべきと考えるかがか。

A 以降の展開としては、厚生労働省が出している各種支援策をまとめたリーフレットにおいて、その旨が記述されたものです。また、本市における申請実態として、申請件数が



きたむら かおる
北村 薫 議員
「公政クラブ」

水田を利用した防災対策 田んぼダムで被害を軽減

Q 今年度、改訂されたハザードマップが市民に配布され、深川市の防災への備えが周知されているが、大雨時の水田の多面的機能を利用した役割について伺う。

A 深川市地域防災計画では、水田を利用した田んぼダムを防災対策施設として位置づけています。

その役割については、大雨時に水田が持っている洪水緩和機能を人為的に高め、雨水を一時的に貯留させて、洪水による被害を少しでも軽減させるものです。しかし、水田のあぜが破損する場合もあることから、関係機関・団体との連携を深め、田んぼダムの取り組みによ

る洪水被害の低減に向けて必要な対応に努める考えです。

深川市立病院の医師確保について

Q 令和2年4月、深川市立病院に小児科の常勤医師が着任したが、整形外科、産婦人科はいまだに常勤医師がいない状況にある。北空知の中核病院としての今後の見通しについて伺う。

A 市立病院の常勤医師について、整形外科では平成22年度から不在となり、現在は、旭川医科大学からの出張医により、週4日の診療体制を確保しています。また、産婦人科では平成27年か

深川市ハザードマップ：市HP



改訂版ハザードマップ



やまもとときお
山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

固定資産税の滞納について 滞納件数の合計は427件

Q 令和元年度決算時点での固定資産税の滞納件数と金額及びそれら滞納額のうち、個人名義及び法人名義等での最高額を伺う。

A 固定資産税は都市計画税と一体で課税、徴収を行っていることから、都市計画税を含めたものとなりますが、滞納件数は427件、滞納金額は約5532万円となっております。国保税を除く一般市税の滞納総額約7365万円の約75%を占める割合となっているのが現状です。また、最高額については、個人名義では約307万円、法人名義では約1079万円となっています。

コロナ禍におけるソバの販売促進は

Q 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度及び2年度産のソバの価格が下落している。ソバの販売拡大のための深川市の対策について伺う。

A ソバの販売拡大の取

農業者応援！
ふかがわ新そばマルシェ：市HP



農業者応援！
ふかがわ新そばマルシェ

り組みとして、本市においては、令和2年8月に「農業者応援！ふかがわ新そばマルシェ」を開催したほか、JAきたそらちにおいては、本市と幌加内町の両市町それぞれで設立した協議会が主体となって、国の品目横断的販売促進緊急対策事業を活用し、9月以降、全

国のセブンイレブンなどに玄そばを安価で供給する取り組みを実施しています。本事業は、12月及び令和3年1月にも継続して実施を予定していることから、引き続きJAきたそらちと連携し、ソバの消費拡大に努める考えです。



おおたこういち
太田幸一 議員
「新政クラブ」

太子町道路整備の考えは 早期の事業実施に努める

Q 市道太子町北通線は非常に道路状態が悪く、排水し字側溝が蛇行し泥で埋まるなど、市道として問題がある。早急に改良・改善が必要と思うが、市の考えを伺う。

A 市道太子町北通線とあわせて市道太子町3丁目線は、道路の交通量などの客観的な評価とともに、地域の状況や路線の位置づけなどを総合的に検討した上で整備路線に選定し、排水整備に向けた改良計画として、調査設計委託業務を行ったところである。両路線については、一体的に整備することにより、地域の交通実態に合わせた道路網の向上、特に、市道太子町

南通線とのアクセスに期待できるものと考えており、早期の事業実施に努める考えです。

コロナ禍における市民への支援は

Q 新型コロナウイルスの影響により、全国では企業の廃業や労働者の雇いどめ・解雇などが広がっ

ているが、国が行っている各種支援金の実態と、深川市における支給状況について伺う。

A 国においては、新型コロナウイルス感染症拡大により売り上げに大きな影響を受けている事業者に対し、事業継続のための持続化給付金や、従業員の雇用維持を図る雇用調整助成金などの支援を行っている。本市における支給状況を関係機関に確認したところ、持続化給付金は、支給対応に注力しており、市町村ごとの支給状況は把握できておらず、雇用調整助成金は、令和2年11月末現在で申請件数90件との回答がありました。

中小企業・雇用
各種制度等につ
いて：市HP



市道太子町北通線



ささきかずお
佐々木一夫 議員
「新政クラブ」

募集要項に沿っている意味 募集要項に沿う対応と認識

Q 平成31年4月、道の駅のカフェコーナーがおりにぎりコーナーに転じた。募集要項ではコーヒー、軽食販売、休憩機能の充実をうたっているが、なぜ特定事業者だけに露骨な要項違反が認められるのか伺う。

A カフェコーナーについては、指定管理者である深川振興公社によってテナントの募集要項に沿って対応がされていると認識していますが、質問の内容は、現在係争中の住民訴訟事件にかかわることであり、こちらの結論が出ていないことから、この場でこれ以上のことをお答えすることは控えさせていただきます。

コロナ対策予算の市長の思想は

Q 対象戸数約200戸のソバ農家には1900万円、12戸の肉牛農家には900万円、対象「人数」1桁の深川未来ファームには3700万円。予算は行政の思想表現であるが、市長のコロナ対策

思想を伺う。
A 農業者、商業者に対する支援は非常に重要と考えていますが、現在、国内で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況であり、今後、感染状況や国の動向をしっかりと見きわめた上で、取り組みについて検討していく考えです。また、今

道の駅「ライス
ランドふかがわ」：
市観光サイト



道の駅「ライスランドふかがわ」

後、地方創生臨時交付金の第三次交付限度額が国から示される予定であり、国の第三次補正予算が閣議決定されたことから、引き続き広く市民の幸せのために事業を推進していく考えです。



たばた はるみ
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

市道のバリアフリー整備は 2路線をバリアフリー化に

本市でのバリアフリー化が進む中、市道仲町通線において国道233号から一巳6丁目までの区間で測量が行われていた。この道路整備の内容と日程及び、その他の市道の整備予定について伺う。

2年度から5年間で整備するもので、整備内容は、歩道幅を2・4メートルに拡張し、排水性アスファルト舗装とするほか、バリアフリー化の整備等を行うもので、令和3年度より着手する計画です。その他の整備予定路線は、蓬萊通線の道道深川停車場線から温水プール「ア・

エール」までの区間を、本年度より着手し、令和3年度に完成する計画です。

えられるようになったが、男女共同参画社会の実現を目指している本市のジェンダー平等に対する考えを伺う。

本市では、男女共同参画計画を策定し、その基本理念の一つに、性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、全ての人がさまざまな活動が

できるような社会の制度や慣行のあり方を考える、「社会における制度または慣行についての配慮」を掲げています。この基本理念を掲げる、男女共同参画計画や総合戦略を推進し、周知・啓発を図ることで、ジェンダー平等の実現に向け、取り進めていく考えです。

深川市男女共同
参画計画：市HP



市道仲町通線



まつもと まさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

小中学校のいじめの状況は いじめによる不登校はなし

昨年度、全国でいじめの認知件数が約6万件増加した。本市もいじめに対しては強い方針を示し取り組んでいる。いじめなどが原因で不登校となった児童生徒の実情と原因、その対応について伺う。

では5日以上欠席している小学生が20人、中学生が34人で、主な理由は体調不良、コロナ禍の臨時休業による生活リズムの乱れ、保護者の教育方針などです。長期欠席の児童生徒へは、週1回程度、担任教師などが家庭訪問し、学校の状況を伝えながら登校を促し、出席日

数の増加に努めています。なお、学校の調査では、いじめが原因の不登校はないと聞いています。

りたいと願う全ての方への支援であるため、夫婦の所得制限廃止と事実婚も対象とする考えについて伺う。

不妊治療費の助成について、過去に事実婚の方から相談はない状況であり、所得制限は北海道の要綱に準じていますが、特定不妊治療費助成は、

北海道が該当の有無を判断し、一般不妊治療費助成は、所得制限により受けられなかったケースがないことから、現段階では条件見直しの予定はありません。しかし、今後の国の方針等を注視しつつ、他自治体の取り組みも参考に、状況に応じて検討していく考えです。

一般不妊治療費
助成事業



つじもと さとし
辻本 智 議員
「モ・レラ(静かな風)」

特定健診の影響と見通しは 具体的見通しは難しい状況

旭川市内の医療機関では、新型コロナウイルス感染症対応として、特定健診が受診延期となっている。特定健診を予定する市民への影響と見通しを伺う。

本市の特定健診の委託先の一つである旭川厚生病院では、令和2年11月24日から健診事業を一

時中止している状況にあり、令和元年度は約380人が受診していましたが、今年度10月末現在の受診者は約170人であり、210人前後の方は11月以降の受診を予定していたと見込まれます。旭川厚生病院の現時点における健診再開の見込みは未定であることから、

具体的な見通しを立てるのが難しい状況となっています。

米の需給環境が大変厳しい状況にある。市内事業所等の給食において、良質な深川産農畜産物を積極的に活用できる仕組

みを検討すべきと考えますが、市の見解を伺う。

もこれらの取り組みを継続して推進するほか、新型コロナウイルス感染症の影響により需要量が減少している状況を踏まえ、JAきたそらちやふかがわ米生産組合など関係団体と一体となって、より一層の消費拡大につながる仕組みづくりを検討したいと思っています。

特定健診：市HP



新デザインのふかがわまい

Q コロナ禍により、Web会議やテレワークの利用が拡大し、オンラインの利便性・重要性は想像以上である。今後のワーケーションやサテライトオフィスに対応した環境整備について伺う。

A 市では現在、専門事業者を通じたワーケーション等ニーズ調査を行って



みやざわ たかし
宮澤孝司 議員
「令和公明クラブ」

おり、市内既存施設の立地環境の確認を初め、ワーケーションで利用可能な施設の洗い出しや、実施する場合の課題、対応などをまとめていくところ。今後、この調査結果をもとに、本市におけるワーケーション等の事業推進の有効性が確認できた場合には、企業との

連携や支援方法などについて、検討していく考えです。

Q おくやみ窓口での手続の負担軽減を

A 身内が亡くなった際に必要となる、国民健康保険などの各種保険や税金、年金の手続における遺族の負担軽減を図るた

め、ワンストップサービスの専用窓口を開設すべく、検討している。

A おくやみ手続の案内については、市民課の総合案内看板の掲示を改善したところですが、専用のおくやみ窓口の設置については、スペースの問題などにより、現状では難しいと判断しています。

今後、新庁舎への移転に伴い、福祉に関する窓口をワンフロアに集約することから、ワンストップサービスを行う項目について関係課と調整を行い、市民にお手間を取らせない、より丁寧でやさしい窓口のあり方について、調査・研究していく考えです。

おくやみに際する手続：市HP



市民課の案内看板

Q 新型コロナウイルス感染症の対策経費が増大している、文化・スポーツ等のイベント開催に、補助金による支援も重要だが、施設使用料の最大減免率5割を入場制限等にに応じて8割にするなどの考えを伺う。

A 新型コロナウイルス感染症による入場制限が

設定される以前も、定員に満たないイベントが数多く開催されていますが、その際も入場者数に応じた減免は行っていないことから、使用料等の減免については、現時点では考えておりません。しかし、感染症の影響は長引くことも想定され、その影響は市民の文化・スポーツ活動にも影響を及ぼすことから、状況に応じた対応を検討していく考えです。

Q 少子化対策庁内推進委員会の強化を

A 深川市の子供の出生数は、ここ数年80人台と低く推移している。これまで以上に多様な発想で

職員の少子化対策への当事者意識を高め、市をあげての施策とするため、推進委員会の強化について伺う。

A 平成18年に次世代育成支援対策推進法が制定され、本市においても市民福祉部長と関係する6つの課の課長職を構成員とする少子化対策庁内推

進委員会を設置しています。ここ数年、本市における出生数は大変厳しい状況にあり、少子化対策の一層の強化・充実を図っていくため、委員会の構成員を拡大していくことや下部組織の設置といったことも含め、委員会のあり方を検討していく考えです。



たなか まさゆき
田中昌幸 議員
「民主クラブ」

文化施設等の減免率拡大を 状況に応じた対応を検討

深川市総合体育館：市HP



入場制限が必要なスポーツイベント



おおまえ あきよ
大前昭代 議員
「民主クラブ」

減収世帯に生活支援を 冬季の換気対策支援を実施

Q 新型コロナウイルス感染症対策での自粛要請等が原因で、現状、非正規を中心に厳しい雇用情勢が続くとみられる。大きく減収し生活が苦しくなった世帯等への食費軽減支援として、お米クーポン配布等の考えを伺う。

A 大きく減収した世帯を支援対象とする場合の

基準について、明確な定義が難しく、減収等を考慮した助成事業を設けることは難しいと考えます。まずは、冬期間の感染予防対策として換気に取り組んでいたために、感染予防冬季換気対策支援事業を実施し、食費の軽減支援等については、これからの感染状況、雇

用情勢や経済状況などに応じて対応の有無などについて検討していく考えです。

Q 地場産品の消費拡大について

A 町なかで地場産品を簡単に買えて、食べて消費することが難しい。地産地消、消費拡大のため、

地場産品を町なかでも簡単に購入できるよう、直売所の設置や、催事の開催等、取り組みの考えを伺う。

A 地場産品の消費拡大のため、広報ふかがわや新聞折り込みにより直売所及びイベントなどのPRに努めており、ほかで、地場

産品の野菜や花などが販売されています。新たな直売所の設置は、農作物を安定供給できる運営体制を整備する必要があり、現状では難しいと考えているため、イベントなどで、市民の皆さんが地元の農畜産物を気軽に手に入れられる取り組みを推進していく考えです。

感染予防冬季換気対策支援事業：市HP



ぽっかぽかであい市

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルや市ホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表:市HP



■北名 照美 議員

- ・市政運営について
- ・「新型コロナウイルス」感染症について
- ・公平委員会について
- ・ネオニコチノイド、グリホサート系農薬の使用等について

■佐々木一夫 議員

- ・高収益作物次期作支援交付金等について
- ・市庁舎建てかえ計画の見直しについて
- ・種苗法の問題点について
- ・PCR検査について
- ・コロナ禍による解雇の状況と支援について

■田畑 陽美 議員

- ・地域おこし協力隊について
- ・森林資源の活用と育樹活動について

■松本 雅祐 議員

- ・新型コロナウイルス感染症に職員が感染し、庁舎内でクラスターが発生した場合の対応について
- ・市立病院における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の対応について
- ・市内公立高校の存続について

■辻本 智 議員

- ・来年度に向けた地域経済の見通しと新年度予算編成の考え方について
- ・インフルエンザ予防接種助成事業について

■大前 昭代 議員

- ・深川市都市計画マスタープランと深川市立地適正化計画について
- ・新型コロナウイルス感染症対策の再点検について

■田中 昌幸 議員

- ・過疎地域自立促進特別措置法の見直しについて
- ・2021年度予算編成方針について
- ・職員の勤務時間について

■宮澤 孝司 議員

- ・中央公民館の建てかえについて
- ・臨時災害放送局について
- ・結婚新生活支援補助金について
- ・ふるさと納税について

■小田 雅一 議員

- ・ふるさと納税について
- ・ふかがわ冰雪まつりについて
- ・ぬくもりの里ほっと館ふぁーむについて



おだ まさいち
小田雅一 議員
「公政クラブ」

農協精米施設の経済効果は 7割がふるさと納税返礼品

Q JAきたそらちの精米施設は、深川市からの補助金等によって平成31年3月に建設、6月より稼働しているが、補助金の支出効果としての経済効果と稼働状況について伺う。

A 当該精米施設の深川産米の処理実績は、計画精米処理量の年5400俵に対し、令和元年は6月の施設稼働後の実績で3907俵、令和2年は計画を上回る約6800俵を見込んでいます。これら精米の販売先は、全体の約7割をふるさと納税の返礼品としているほか、市内飲食店や食事を提供する公共施設、学校給食などにも幅広く利用

Q 本市では、高校の魅力ある学校づくり事業を平成26年から取り組んでいるが、これまでの取り組み内容と、事業実施によって入学生の増加につながっているのか。本事業の評価について伺う。

A 市内公立高校2校の魅力づくりを支援する本事業は、助成対象項目を徐々に拡充し、現在は資格試験及び模擬試験の受験料、通学定期代、部活動の費用、学校のPR費用などに活用されています。本事業の評価については、両高校からは上級資格の取得に成果を上げていると聞いており、継続して広報などで周知してきたことにより、本制度が浸透しつつあり、両高校の入学者確保に一定の効果があったと考えています。

深川西高校・東高校の魅力づくりへの支援:市HP



JAきたそらちの精米施設

教

え

て

市

議

会

請願・陳情って何？

普段なじみのない議会の仕組みについて、今号では、
請願・陳情の制度概要と提出方法について説明します。

陳情第2号「北海道内自治体による高レベル放射性廃棄物最終処分場選定の調査応募に関し、北海道条例の遵守を求める意見書の提出を求める陳情書」

令和2年第3回定例会において、陳情第2号が総務経済常任委員会に付託され、委員会を10月14日、15日、20日及び11月17日、26日、30日の6回開催し、審査しました。

審査の中で、宮澤副委員長から陳情の趣旨を踏まえた意見書の提出があり、意見の開陳及び討論終結後、意見書を全会一致で北海道知事に送付すべきものとし、陳情第2号を全会一致で趣旨採択すべきものと決定しました。

その後、令和2年第4回定例会の本会議においても、陳情の趣旨採択と意見書の提出を全会一致で決定しました。

請願・陳情とは？

市政等について意見や要望があるときは、どなたでも市議会に対し請願・陳情を行うことができます。このうち、議員の紹介があるものを請願、紹介がないものを陳情といいます。

提出方法

請願書・陳情書は、件名、要旨、理由、提出年月日、提出者の住所・氏名（団体等の場合は名称と代表者氏名）を記載し、押印の上、議長宛てに提出してください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

◆ 問合せ先：深川市議会事務局内 ◆

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282（直通）

深川市議会YouTube
チャンネル

深川市議会
公式ホームページ

編集後記

令和2年第4回市議会定例会では12人が一般質問を行い、コロナ禍による生活・経済への影響を懸念する内容が多くありました。そのほか、特別委員会の中間報告、補正予算の審議などを行いました。いまだ、コロナ収束の兆しが見えない状態が続いていますが、昨年、開催できなかった議会報告会をこじしは開催し、皆様の意見を聞かせていただきたいと思います。

広報編集委員会副委員長 田畑 陽美